

ヨシイちゃんのひとりごと

旦那はんと呼ばれて見たい・ウソでせ

早く帰宅したのでTVをつけた。中村橋之助が羽柴秀吉で出ている。あれ、石田三成では無かったのか？と目を疑った。その日は火曜日6チャンネル(朝日)で大型時代劇『太閤記A』が放映されていたのだ。NHKの大河ドラマ「功名が辻B」では橋之助は石田三成で出ていたので混乱したわけだ。同じ時代背景で、しかも放送時期が重なって進むのだから放送局も役者も視聴者を馬鹿にしている気がした。それはさて置くとして放送の



「太閤記」では秀吉の妻「ねね」星野真理が夫に、「功名が辻」で山内一豊の妻を演じる「千代」仲間由紀恵が共に、わが夫を「旦那様」と呼びかけていた。その「旦那様」の言葉に何か懐かしい気分がした。

お店の番頭、丁稚さんや祖母、お店に商いで訪ねてくる方が祖父を「旦那さん」と呼び、父を若旦那と呼んでいた。祖父が亡くなった後は父が「旦那さん」になった。奉公人や商人が男の主人を敬って使い、金持ちや身分の高い人の代名詞のようにも使っていたようだ。戦後暫くは耳にしたが今は殆ど聞かなくなった。先にあげた二つのドラマの舞台は戦国時代、放送局の時代考証

京のおばんざい

「いけずな京女文化論」から「コン美味食文化論」より無断転載した「メグ通信」から又無断借用したものです。

「京のおばんざい」という言葉、本来の意味から離れて一人歩きしてプしちやつてるのだ。たとえばこんな感じ。京都では、お惣菜のことを「おばんざい」といいます。ふだんの食卓に登場する豪華ではないけど旬の食材を使って丁寧に作られた、しみじみおいしい日本人的味覚の原風景だと思います。

「え〜と。どちらにお住まいですか?」「京都ですか!いいですね、羨ましい」と言ってきたさるの悪い気分ではない。わざわざいい印象をぶち壊すのも大人げないが、あえて言っちゃいます。



「旦那はんおおきにどっせ」の声が生きてる祇園町左・舞妓：右・芸者

は確かだろつから、「旦那」は400年以上前から使われてきた日常語だったようだ。いや梵語の(DAMA=施す)を基にした音訳だと辞典にあるから2千年も前から使われたのかも

知れない。トンと近頃は私には縁の無い祇園町辺りでは多分今も良く使われているだろう。お父さんの呼びかけもパパ。旦那も社長に代替わりしたのでらう。けれどもパパ、社長、旦那とは等しい感じではない。旦那の方が「格と位」が一段高くなるのは歳の所為かもしれない。そう言うことは一度も「旦那さん」と呼ばれたことはない。自立した強い女性が増えたのか、男性が弱くなったのか判らないが、それで平和なことには確かだ。善哉、ゼンザイ。

いまどきこんなおふくろさんは(たぶん)いません

「おばんざい」というのはもとも、京の商家で使用人に食べさせていたケチケチ料理です(と、うちのおばちゃんに言っていた)。

旬の食材を使うのは、たくさん出回っていて安いから。1日、8のつく日、15日、月末に食べるものが決まっているのは、お店が忙しいとき(集金日とか)に献立を考えなくていいから。うす味なのは、高価な調味料を惜しんで使っていたから。

だから、漢字で書くと「お番菜」。「番」の字は「番茶」「番傘」にも使われていることからわかるように、「実用的」「粗末な」という意味があります。まあ、結果的には健康に良く、素材を無駄にしないエコロジーなメニューになっているわけですが、丁寧に作られているのも嘘じゃない。



そやけど、「おふくろの味」ではなく「まかない」です。どつちかというところ、和食の達人が作った京のおばんざい、おもてなしする京の料亭」とか、いやそれ違うし、といけずな京女は思つのであった。「コン美味食文化論」より愉快で痛烈な非難を、こんなに柔らかく優しい京の女がはんやと思えます。ワザと太字にしたのは「ヨシイちゃん」の仕業です。堪忍しとくりやす。

京の「おばんざい」には「焼酎」は「不釣合い」な「酒」も「水」が命「旧京都」が「鴨川」の伏流水で「鴨川」の純米酒「美しさ」を「お試」さ「集西薬サカタ」は「何時も置いて有ります」。

わかりやすいパソコン教室を開催します。
パソコン教室・入会金 1500円
 講習時間・1レッスン・1時間
実用書道教室・入会金 2000円
 講習時間・1レッスン・1時間 30分
 日常にお役に立つ実用書道教室を開催します
お問合せ 事務機・文具の(株)イノウエ
 電話841-1450 Fax 841-1451
場所・両教室・集西薬サカタ二
 お問合せ 561-7974
 詳しくはお問合せ下さい。

寄稿・投稿

この欄は皆様のスペースです。ご投稿寄稿をお待ちしています。匿名でも可

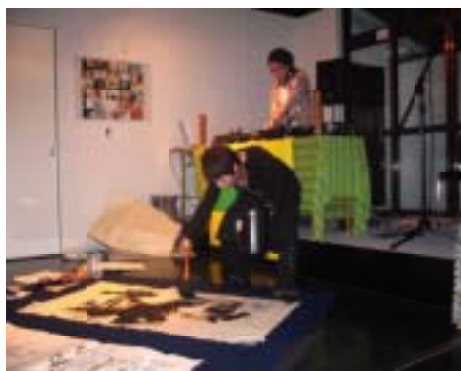
人生(アート)を
楽しみましょう！
アートプロジェクト「28-
BOW」主催イベント「All
people have the ability to create
art」秋を楽々ホールに
て開催させていただきました。

延近 謙

去る、10月27日、29日の3日間、アートレーベル「28-BOW」主催イベント「All people have the ability to create art」秋を楽々ホールにて開催させていただきました。

我々、28-BOW (two eight - bow)とは、全ての人々に「クリエイティブ」する能力がある事を呼び、創造、創作する楽しさを多くの人達に伝えるべく、ありとあらゆるものを「アート」ととらえ、様々なイベントや作品展を企画し世の中に発信している、アートレーベルです。

今回は「秋」をテーマに総勢37名のアーティストの方々に、



それぞれのアートで「秋」を表現していただきました。それだけのアートで「秋」

2日目の28日には、「ギター」の弾き語り、「DJ」その場で聞いた音を書きで表現する「ライブ書」など、音楽とアートとの融合イベント「SOUND BOW」を開催し、3日間で約140名という大勢の方々に足を運んでいただきました。

このイベントの最大の特徴は、誰でもご参加いただけるということです。今回ご参加いただいたアーティストの方々も11歳から60歳と幅広く、老若男女問わず、アートを楽しんでいただきました。

アートは鑑賞するだけでなく、充分楽しいものですが、自分が創作する立場になると、楽しさは倍増します。ゼ口から何かを作り出すわけですから産みの苦しみは当然あります。しかし、それを乗り越え作品が



完成した時の達成感、充実感、言葉では言い表せない程、嬉しいものです。そして、その作品をこつこつとした作品展を通して、不特定多数の人に見てもらおう。すると、様々な反応が返ってくるわけです。

「すごく良かった!」「元気が出た!」「刺激を受けた!」時には厳しい評価もいただきましたが・・・。そういった色々な方からの反応を受けますと、次はもっといいものを作ろうと思えます。そして、もっといいものを作る為に、自ら、刺激を求めます。他のアーティストの方の個展や、作品展を覗いてみたり、

1月14日(日)
三十三間堂・通し矢

当社では今年も三十三間堂にお参りの方々に甘酒と粕汁(2階)の無料接待を9時までお手伝い致します。(薄謝進呈)

12月の第24回朝粥を食べておしゃべり会は、12月17日の第3日曜日開催です。下は当日のゲストのお写真です。詳しくは4ページを見て下さい!



ご予約を
忘れないで
ネ

新入荷の焼酎ご案内

芋焼酎
明るい農村 720m 13508円
花と蝶 900m 1188円
紅梅 1.8L 2563円
燃島 1.8L 2725円
欄 720m 1・1313円

米焼酎
鳥飼 720M L 1913円
大石 720M L 1725円

麦焼酎
つくし黒 720M 1350円
つくし白 720M 1350円



美術館や博物館に足を運んでみたり、本を読んだり、音楽を聞いたり、映画を見たり・・・。仕事や家事に追われ、毎日、同じ事の繰り返しで日々が過ぎてしまっていた日々が、刺激に溢れ、より楽しい人生に変化します。28-BOWが生まれた理由はまさにそこにあります。「平凡な日々からの脱却。それは創造することから始まる。実行するか、しないか。全ての人々に創造する能力は与えられている。」つまらない日常を変えるのは自分自身です。

そのきつかけとして28-BOWを利用していただければと思います。美術館や博物館に足を運んでみたり、本を読んだり、音楽を聞いたり、映画を見たり・・・。仕事や家事に追われ、毎日、同じ事の繰り返しで日々が過ぎてしまっていた日々が、刺激に溢れ、より楽しい人生に変化します。28-BOWが生まれた理由はまさにそこにあります。「平凡な日々からの脱却。それは創造することから始まる。実行するか、しないか。全ての人々に創造する能力は与えられている。」つまらない日常を変えるのは自分自身です。

お問合せ561-7974酒谷宗男



貸しホール・楽々ホール
ピアノ舞台・椅子テーブル有

2階キヤラリーカフェ集
ファミマ弁当持込可
大型テレビ設置
コーヒーマシン 2000円
ソフトクリーム 180円

御詫び
とんからりん十二月号のお届けが遅れまして申し訳有りません。
「とんからりん」は全て自家製で殆ど一人でパソコン入力をしていきます。まだ勉強不足でソフトを上手く使えず「ヘマ」をして遅れました。モット頑張り勉強します

酒屋で生きて 生かされて

第十二話

酒屋で生きよう！

青春を謳歌し、昼間は酒屋を手伝い夜は酒屋以外の活動に熱中していた1955年7月、参加していた組織である事が起り悩み苦しみました。翌年、3ヶ月余り酒屋も活動からも離れ、時間をかけて自分の進む道を模索しました。そして組織活動を辞め、父と共に酒問屋で生きる事を決めました。

酒問屋業に専念しましたが一度潰れかけた店で信用は簡単に回復できません。市内、特に東山区は大苦戦、そこでの販路拡大を滋賀県に求め、販売先を開拓する方向に転換することにしました。戦前戦後お取引を頂いていた「K酒造・U酒造」のご支援で栗太郡瀬田から野洲郡篠原までの酒小売店60店余りのお得意先を父が開拓し私が後を担当することになりました。



滋賀県野州市にある三上山(近江富士)を見ながら酒屋さんに注文とりに廻る。写真は八田正文さんのHPから借用したものの

今、草津市栗東市守山市野州市となり大発展している地域ですが当時はのどかな農村地帯、農家と兼業の酒屋さんの方が多い時代でした。遠方なので、ルーソールス的な販売方法をとりました。毎月6のつく日に注文取り、翌日に配達する。販売する商品も滋賀県の酒卸会社は2社だけなので、そのお店と競合をさせて「ビール洋酒」は外し銘柄も絞り込むことにしました。

酒屋さんへルーソールスで訪問しご注文を頂くのですが、元来、気の弱い男でした(本当です)が、五年間の組織活動で得た経験から、お得意先様が何を望んでいのかを掴み取れることができました。私の訪問をお待ちくださる店も出来て、売上成績も上がり、会社も黒字決算が出来るようになりました。債権者側派遣の専務も引揚げ、どうやら一人立ちと思っていた矢先、仕入先が倒産、現金や手形を先渡した分の商品が入らず、商品代金の手形が名古屋の「M氏」(高利貸)の手で渡り、銀行が警戒して融資を断られる事態が起りました。

何とか被害を減らすには、高利貸から手形を回収することです。名古屋に交渉にゆく際、銀行員出身のお得意先「Y氏」の同行を頼みました。夜行列車の中で、交渉は全て私が見

ます感情的になった時だけ止めて下さい」とお願いしました。朝7時前、「M氏」宅に着き、手形返却を交渉にはいりましたが中々聞き入れてもらえません。10時までに「組戻し」が出来ないと、「不渡り」になります。交渉は平行線で進まず時間は迫ります。9時前腹を決めて、「私の会社は貴方の廻された手形を決済しません。従って潰れます。小とは言え社員が居り、その家族と私共は路頭に迷うことになりません」と言い更に「貴方が手に入れられた手形は商取引上のものでは有りません。Mさんか

ら私共は一円も借りていない。手形は詐取されたものと認識している。従って黙って潰されきりにはしません」付け加えました。その高利貸は別に酒関係の本業があり、暗に酒業界に「M氏」の不当を知らず事をほめかしました。覚悟を決めた真剣勝負でした。要求はとおり、「組戻し」を確認、「Y氏」のお力を借りずに残余の約束手形は回収できました。それで一時的に危機は先送り出来たのです。

豊田勇造ライブと拾得

京都のライブハウス草分けと言え拾得。私も若かりし頃「豊田勇造と中山ラビ」のライブに行った。拾得が元酒蔵だった事を知っていて興味もあつた。若かりしころといつても40台半ば、観客は男も女もモット若い人が多かった。二人のオリジナルの曲に若者ぶって手拍子をしながら聞いていた。飲んだビールと水割りです小便がしたくなる。便所に入り「物」から小便を出そうとして突然止めた。キンカクシに酒造り道具の「桶」が使つてあつた。酒屋は、それに「小便」をかけられない。外で立ちション。今度のライブの打ち合わせで豊田勇造さんにその話したら今はトイレは改造しキンカクシは「酒桶」では無いと聞いた。これで安心して又拾得に行ける。

豊田勇造

オルガン 西野桂子

七条ライブ

ベース 山田晴三

2007年1月21日(日)

6時開場：7時スタート

前売り：3000円

当日：3300円

1ドリンク付

会場：東山区・七条京阪駅東

集西楽(しゅうゆうらく)サカタニ

楽々ホール 561-7974



サカタニ友の会員を増やしたい!

サカタニ友の会は左のサービ入をさせていただきます。知人・ご友人・ご近所の方に参加をお勧めください。年会費1200円ですがご損はさせません。

会員様サービス

入会・更新時と年度内2回・五〇〇円買物券を進呈

毎月500円割引券を進呈

この券はファミマ、集西

楽サカタニで使用可。

会員様価格の商品配達、

試飲会、蔵見学、朝粥会

の会員割引有り。

2階の「集西楽サカタニ」

でお買物は1000円で1

ポイント、配達分は20

0円で1ポイント進呈。

300ポイントで300

円のサービスタクシー登

録会員様はカードが無く

ても自動的ポイント加

点

会員様には、情報紙

「とんからりん」や案

内をお届け

未成年やご同業の方、当社の

都合で入会を断る場合も有

第24回朝粥を食べておしゃべり会

12月17日(日)

第3日曜午前9時~10時半

お話し：吉竹明弘さん

(昭和11年9月3日生 70歳)

日本レクリエーション協会所属

公認レクリエーション・

インストラクター

すこやか体操

(クイズを取り入れながら)

懐かしの映画について

(写真などでお話いただきます)

藤十郎の恋

主演 長谷川一夫・

入江たか子についてのお話

必ずご予約して下さい

参加費：一般3000円

会員様2000円

(締め切り12月15日)